

## テーマ：様々なハンディを支援するアプリ活用法

講師：福祉工房かずかずわあーくす 松島和仁氏

H29.04.13 PM19:00-20:30 ハートセンター5階パソコン室

講師:1名 参加者:8名 NPO:2名 計:11名

### 【内容】



今回のテーマは、「様々なハンディを支援するアプリ活用法」と題し、福祉工房かずかずわあーくすの松島和仁氏が講師で、アップル社 i o s 用 生活・学習・移動支援のコミュニケーションアプリについての話を伺った。

普段あまり知られていないアプリなどを中心に、環境による事象困ったことや苦手なことを助けるアプリの活用を紹介いたしました。

詳しくはレジメにて紹介しています。

※ i o s の 6 4 b i t 化に伴い動けなくなるうぶ理もありますので注意してください。

### 【アンケート回答】

A.内容に対する感想の度合 4/8 回答

大変参考になった1件 参考になった3件

B. 参考になった点や判りにくい点などの感想

- 実際にアプリを使って説明してくれたので、分かり易く、どういう人に適しているかなど考えることができた。
- レジメのページ数を言ってもらえると分かり易くなると思った。
- 様々なアプリの情報が分かった。
- 障がい者支援として、アプリケーションソフトの有効利用について、取り組みがなされている事を知り得たこと。

C.現在問題抱えている問題点

- 染色体異常を持った発達障害児・者の L i f e S t a g e に応じた支援方法
- 所属している施設での運営面で、先進的取り組みについて、関心が薄い。

D. 開催に対し、改善・希望内容

- 染色体異常を持った発達障害児・者の L i f e S t a g e に応じた支援方法
- ニーズ具体策に基づいた支援の取組の情報交換、アプリケーションソフト開発。

E.NPOへ問合せ・希望など

この様なセミナー実施を10年間やってこられたこととお聞きし、もっと早く参加していたかったと思いました。

自分なりのITを活用した支援のあり様を模索していきたいと思います。

希望としては平日19:30~21:30

G.職種分野

福祉 2名 障がい者及び家族関係者 1名 マスコミ 1名

H.職種 所属・資格等

支援者 1名

ディサービス職員（ダウン症の親 1名） 2名

福祉施設（事務職員） 1名

I.開催の情報の入手の媒体

マスコミ 2件 知合い・職場 2件

J.今後の興味（複数回答あり）

福祉 2件（情報支援 1件） 暮らし 1件

福祉情報支援セミナー事業

《福祉情報支援（e-A t c）研修会コース》